

## 1月10日：大引けにかけて売りが強まり、VN指数は続落

大引けにかけて不動産セクターに売りが集中し、VN指数は続落となった。

ホーチミン市場のVN指数は1.62%安の1,503.71ポイントで取引を終えた。

騰落別では308銘柄が下落、141銘柄が上昇した。

売買高は13億8,000万株を超え、売買代金は約41兆8,000億ドン（18億4,000万米ドル）となった。

不動産、銀行セクターの大型株の多くが売られ、VN指数を押し下げた。

VN30指数は1.14%安の1,514.70ポイントとなった。

同指数採用銘柄のうち、24銘柄が下落、4銘柄が上昇し、2銘柄は変わらずだった。

業種別では銀行株が軟調で、マーケット全体の重しとなった。主な値下がり銘柄にはベトナム投資開発銀行（BID）、ベトコムバンク（VCB）、サコムバンク（STB）、サイゴンハノイ銀行（SHB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、軍隊商業銀行（MBB）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）、リエンベトポストバンク（LPB）が含まれた。

不動産セクターも弱く、個別株ではベカメックス IDC（BCM）、第16リコジ建設（LGC）がそれぞれストップ安となった。ナムロン投資（NLG）-6.8%、FLCグループ（FLC）-6.2%、ダットサイングループ（DXG）-5.6%、ハド不動産グループ（HDG）-5.2%とそれぞれ売られた。

「VN指数は一時1,535ポイント台をつけたが、方向感のない値動きとなった」（BIDV証券）

「外国人投資家はホーチミン市場で売り越し、ハノイ市場で買い越した」（同証券会社）

「今後マーケットは銘柄選別が進み、落ち着かない値動きとなりそうだ。しかしVN指数にとって1,550ポイントが次の目標株価となるだろう」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場で4,770億7,000万ドンを売り越した。売り越し銘柄にはビンコムリテール（VRE）2,666億1,000万ドン、ビンググループ（VIC）1,604億2,000万ドン、ビナミルク（VNM）1,256億1,000万ドンが含まれた。

一方、ハノイ市場では667億ドンを買越し越した。

ハノイ市場のHNX指数は2.22%安の482.89ポイントで取引を終えた。

売買代金は約5兆2,000億ドン、売買高は1億8,560万株を超えた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。